

住民基本台帳ネットワークシステム
仕様書

交野市
市民課

目次

はじめに	2
(1)本書の内容について	
(2)本書の目的	
(3)前提条件/留意事項	
1. CS(コミュニケーションサーバ)機器一式.....	5
(1)基本要件	
(2)ハードウェア構成	
2. 統合端末・ネットワークプリンタ (Microsoft Windows 11)	11
(1)ハードウェア仕様明細	
(2)ソフトウェア仕様明細	
3. ネットワーク関連機器	16
4. ファイアウォール	17
基本要件	
ファイアウォール管理端末	
5. IC カードリーダー/ライタ装置.....	18
6. 照合情報読取装置	19
7. 機構配布ソフトウェア一覧 (参考)	22
8. 整備概要図.....	23
9. 導入作業	23
10. 保守内容.....	24
11. その他	24

はじめに

(1) 本書の内容について

本書は、本市における住民基本台帳ネットワークシステム（以降、「本ネットワークシステム」とする）の導入における、ハードウェア及びソフトウェアの調達仕様事項、導入作業内容、保守作業内容について記述する。

(2) 本書の目的

システムの導入を行うにあたって、必要となるハードウェアおよびソフトウェアの選定を目的として、以下の内容について記述する。

(A) ハードウェアおよびその構成例

本市において調達するハードウェアの仕様は人口規模【～10万人未満】で想定するシステム構成を記述する。

(B) ソフトウェア

構築に必要なソフトウェアを記述する。地方公共団体情報システム機構（以下「機構」という。）から配布されるソフトウェアについては別途記述する。

(3) 前提条件/留意事項

機器調達、導入作業等については機構より公表される最新の機器整備資料、機器更改関係資料、導入作業内容関係資料、各種運用保守手引書の内容を確認し、作業を行うこと。

(A) 契約期間と契約方法

- ・システム導入期間：契約開始日から令和6年12月31日まで
- ・賃貸借・保守期間：令和7年1月1日から令和11年12月31日までの60か月
- ※システム導入のための作業費については構築作業完了後に支払い、ハードウェア、ソフトウェア等に係る賃貸借料と保守料については、月額として支払う。

(B) 業務開始日

令和7年1月1日（予定）

(C) システムの検査

受託者が作成し、かつ本市の承認を得た試験計画書に基づく検査に合格しなければならない。

(D) 主な成果物及び納入物件

- ・システム設計書
- ・テスト結果報告書
- ・検収報告書
- ・体制・分担など
- ・電子データ（上記資料を電子媒体に格納し、提出する。）

(E) システムの契約不適合責任

本市が承認した受託者作成の成果物と仕様書に不一致が検査完了後 1 年以内に発見された場合は、本市と協議の上、受託者は無償で是正措置を行うこととする。なお、納入されるシステムは検収時点において最新のバージョンが適用されていることとする。また、契約満了後、新たな調達先のシステムへ移行する場合、スムーズに移行が行えるように努めること。

(F) 所有権等

本市は本事業において新規に導入するシステムで使用するハードウェア・ソフトウェア等については、その所有を行わずリース契約で利用する。したがって、所有権等については受託者との契約に準ずるものとする。

(G) 機密保持

受託者（退職者等も含む）は、本事業において知り得た情報を本事業の目的以外に使用し、又は第三者に開示若しくは漏えいしてはならない。

(H) 業務実施場所

本市が指定する場所、又は受託者の申請により本市が認めた場所とする。

(I) システム設置場所

機器等の設置場所については、以下のとおりとする。

- ・サーバ、ネットワーク機器等：本市庁舎内
- ・端末、ネットワーク機器等：本庁市民部 市民課

(J) 構築方針

本事業で構築するシステムは、本市が承認した設計書に準拠するとともに、本市と随時協議して、誠実かつ完全に構築するものとする。また、システムを構築する上で疑義が生じた場合、直ちに本市と協議するものとする。

(K) 設備整備費用

本仕様の範囲で設置するシステムの設置場所は本市で用意する。但し、本仕様外についての事項が発生した場合の費用については、その限りではない。都度、協議することとする。

(L) 事務環境

開発・移行・導入作業等の実施における、机、椅子、書架、電話、OA 機器等の事務環境は受託者が全て準備するものとする。但し、本市の要求により特別調達が必要となった物品についてはこの限りではない。都度、協議することとする。

(M) 人件費・諸手当等

本事業の遂行にあたり必要となる受託者の人件費、出張旅費、諸手当等の費用は全て契約金額に含まれる。但し、本仕様外についての事項が発生した場合の費用については、その限りではない。都度、協議することとする。

(N) 消耗品

システムの導入に関して必要となる消耗品（本市との打合せをはじめとする各種会議等で使用する印刷物作成、成果品の納品に係る消耗品・電子媒体等）の費用は全て契約金額に含まれる。但し、本仕様外についての事項が発生した場合の費用については、その限りではない。都度、協議することとする。

(O) 通信運搬費

本市との連絡調整に必要となる電話・郵便等の通信運搬費については、受託者から本市に向け発信、発送したものについては全て契約金額に含まれる。但し、本仕様外についての事項が発生した場合の費用については、その限りではない。都度、協議することとする。

(P) サーバ機器等撤去

契約期間満了後のシステムサーバ等の撤去作業を行うこと。なお、撤去したサーバに関してはデータ消去を実施し、その旨の証明書を本市に提出すること。

(Q) 業務引継ぎに関する事項

本契約の履行期間の満了、全部若しくは一部の解除、又はその他契約の終了事由の如何を問わず本事業が終了する場合は、受託者は本事業終了日までに本事業を本市が継続して遂行できるよう誠意を持って協力するものとする。また、業務引継ぎに伴いデータ移行が発生する場合、受託者は本市に誠意を持って協力するものとする。移行作業で発生する費用については、本市と別途協議し調整を行うものとする。

(R) セキュリティポリシー

本調達業務及び保守業務にあたっては、交野市情報セキュリティポリシーを遵守すること。

1. CS(コミュニケーションサーバ)機器一式

(1)基本要件

CS の基本構成として、万一障害が発生した場合でも、本ネットワークシステムの運用に支障をきたさないように、ハードディスクの冗長化構成とすること。

(2)ハードウェア構成

ハードウェア仕様明細

表 1-1 ハードウェア仕様明細一覧 (1/3)

要件		必須仕様	備考
本体	形状	ラック搭載タイプ	ラックの調達 は不要。ラックへ機器を搭 載するための レールキット 等が必要。
	CPU (注 1、2、3)	Xeon プロセッサ (2.00GHz 以上かつ 1CPU 当たりのコア数が 4 以上のもの) ×1 または、上記プロセッサと同等以上 の性能を有する互換プロセッサ (1CPU 当 たりのコア数が 4 以上のもの) ×1	

(注 1) CPU は 64 ビットの OS およびアプリケーションが動作可能な製品を調達すること。インテル 64 アーキテクチャ (旧称：インテル・エクステンデッド・メモリ 64 テクノロジまたはインテル EM64T) または、これに相当するアーキテクチャに対応する CPU であって、64 ビットの OS およびアプリケーションが動作可能な CPU がこれに該当する。

(注 2) 「7. 機構配布ソフトウェア一覧」に示すソフトウェアのライセンス (使用許諾条件) の都合により、当該装置におけるプロセッサの搭載可能ソケット数は 4 ソケット以下であること。

(注 3) 「7. 機構配布ソフトウェア一覧」に示すソフトウェアのライセンス (使用許諾条件) の都合により、搭載する CPU のコア数は最大 4 コアまでの範囲内とすること。

※ただし、1CPU 当たりのコア数が 4 となる CPU を搭載したサーバ機器の販売が行われていない等、最大 4 コアまででの機器の調達が困難な場合は、最大 8 コアまで。

表 1-1 ハードウェア仕様明細一覧 (2/3)

要件		必須仕様	備考
本体	メモリ	32GB 以上	ECC 機能付き であること
	ローカルディスク (注 4)	実効容量：700GB 以上	・ 本体内に内蔵すること ・ SSD であること
	ネットワーク	1000Base-T または 100Base-TX 対応×2 ①都道府県ネットワーク側 1 口 ②既設ネットワーク側 1 口 接続しようとするハブまでのケーブルを用意すること	
	外部記憶装置	・ LT0 ドライブ (LT03 以上) ×1 (注 5) ・ DVD マルチドライブ等×1 (注 6、7) ・ データ出力可能な任意 (USB メモリ等) の外部記憶装置×1	機器を本体に内蔵またはラックに搭載すること
	インタフェース	・ 照合情報読取装置×1 を接続できること (インタフェースは USB2.0 以上とする) ・ ディスプレイ×1 を接続できること (インタフェースはミニ D-SUB15 ピン、DVI-D、HDMI のいずれかに準拠とする)	
	拡張スロット	耐タンパー装置の搭載枚数に応じた PCI Express スロットを用意すること (注 8)	

「表 1-1 ハードウェア仕様明細一覧 (CS) (2/3) - 注意事項」

(注 4) ハードウェアによる RAID-1 または RAID-5 構成後の容量 (実効容量) とする。

(注 5) 「ソフトウェア仕様明細」に記載のデータバックアップソフトウェアの認定デバイスリストの範囲から選定すること。また、ローカルディスク容量と外部記憶装置への転送速度からバックアップ時間を計算し、想定する運用の範囲内に収まっていることを確認し問題なくバックアップを行える外部記憶装置を調達すること。

(注 6) DVD マルチドライブ等を調達する際は、以下の点に留意すること。

- ・ DVD マルチドライブ等は、片面 4.7GB または両面 9.4GB の Class0 (書き込み速度 2～5 倍速) の媒体を扱えるものとする。また、Type3 または Type5

の媒体を扱えるものとする。 (Type2 または Type4 の媒体においては、カートリッジから取り出して、Type3 または Type5 と同等の媒体として取り扱えることでもよい。)

また、2 層式 (DVD+R DL や DVD-R DL) の媒体を扱えるものとする。

- ・ 既存住基システム～CS 間のデータ受け渡し媒体として、DVD-RAM を選択する場合は、既存住基システムに搭載する DVD マルチドライブ等の仕様も考慮すること。
- ・ 独自利用システム～CS 間のデータ受け渡し媒体として、DVD-RAM を選択する場合は、独自利用システムに搭載する DVD マルチドライブ等の仕様も考慮すること

(注 7) 障害発生時のログファイル採取や統合端末への各種データの複写など、外部記憶媒体にデータを出力して他の機器に移送する場合があるため、データ入力側機器の仕様を考慮した「USB メモリ」などの装置をデータ出力可能な任意の外部記憶装置として選定すること。

任意の外部記憶装置として、DVD マルチドライブ等を用いることとしても良い。なお、USB メモリ等は本ネットワークシステム専用とし、他システムとの併用は避けること

(注 8) 耐タンパー装置を搭載するサーバ側の仕様は、表 1-2 のとおり。

表 1-1 ハードウェア仕様明細一覧 (3/3)

要件	必須仕様	備考
ディスプレイ	1,280×1,024 ドットおよび 1,024×768 ドットの表示が可能なこと 256 色以上の表示が可能なこと	
キーボード	日本語キーボード	OADG 準拠日本語 109 キーボード
マウス	PS/2 マウスまたは USB マウスであること	
無停電電源装置	接続する機器の電力容量に合わせたものを調達すること	電源制御用ソフトウェアと連携し、スケジュール運転、自動電源制御が可能なもの
耐タンパー装置	機構の指定製品「住民基本台帳ネットワークシステム耐タンパー装置 (Luna PCIE A700)」(Thales 社製)を調達すること 販売代理店 (注 12) における型番は次の	予備として 1 枚用意すること

	とおり。 ・機器型番[LUNA7-PCIE-A700-MAC-J] ・保守型番[SUP6-LUNA7-PCIE-A700-MAC-J] ファームウェアのバージョンは 7.7.1、クライアントソフトウェアのバージョンは 10.5.1 とする。 数量：1	
照合情報読取装置	機構の指定製品（富士通株式会社製 住基ネット用操作者認証装置（ガイド有）（V3））を調達すること ※製品名は現在仮称であり、製品販売時（令和 6 年 8 月末頃予定）に製品名が決定する。製品名が決定するまでは、仮称で調達を行うこと。 数量：1 ハードウェア仕様については、「6. 照合情報読取装置」を参照のこと	
その他	上記構成を実装する上で、必要となるアダプタ類、ケーブル類、電源コード等をすべて含むこと AT 互換機であること	

表 1-2 耐タンパー装置仕様一覧

要件		必須仕様
インタフェース	PCI バス規格	PCI Express Base Specification Revision 2.0 以上
	対応スロット	レーン数：x4 以上
	ボードサイズ	ロープロファイル PCI Express カード（標準規格に準拠） ボード高さ(H)：最大 69.6mm ボード長さ(L)：最大 167mm ボード厚み(D)：18.7mm
	ボード側のコネクタ形状	PCI Express x4 コネクタ
	使用スロット数	耐タンパー装置 1 台につき 1 スロット
動	動作環境	使用メモリ：使用する OS のシステム要件を満たす容量の

		メモリを搭載していること 使用ディスク：100MB 以上の空き容量があること ※Thales 社製 Luna PCIe A700 との連携が検証済みであること
	使用環境	温度 5℃～40℃で動作すること

<PCI バスブリッジ経由の接続について>

PCI バスブリッジは製品ごとに仕様が異なるため、耐タンパー装置の製造ベンダが、PCI バスブリッジ経由での接続を推奨していない。

ソフトウェア仕様明細

表 1-3 ソフトウェア仕様明細一覧

機能	必須ソフトウェア、仕様	数量	製造元
OS	Microsoft Windows Server 2022 Standard CS に接続する、統合端末分のクライアント アクセスライセンスも調達すること	1	Microsoft 社製
データ バック アップ	Arcserve Backup 19.0 for Windows	1	Arcserve 社製
システム バック アップ	サーバでの障害発生時に、OS をインストー ルすることなく即時にサーバを復旧可能な機 能を有するソフトウェア	1	
電源監視	無停電電源装置と連携して電源制御、スケジ ュール運転を可能とする機能を有するソフト ウェア	1	
照 合 情 報 読 取 装 置 制御	以下の機構の指定製品を調達すること。 ・富士通株式会社製生体認証ミドルウェア 基本ソフトウェア メディアパック (V3) ・生体認証ミドルウェア 基本ソフトウェア ライセンス (V3) ※製品名は現在仮称であり、製品販売時（令 和 6 年 8 月末頃予定）に製品名が決定する。 製品名が決定するまでは、仮称で調達を行う こと。	1	富士通株式会 社製

※すべてのソフトウェアが OS 上で問題なく動作すること。

※本仕様を実現するために必要なソフトウェアはすべて含むこと。

（各種インタフェースボードを制御するドライバソフトウェアなど）

※機構より配布されるソフトウェアと連携し、問題なく動作すること。

2. 統合端末・ネットワークプリンタ (Microsoft Windows 11)

(1) ハードウェア仕様明細

(A) 統合端末

(a) 必須要件

以下の構成機器を調達する。

なお、統合端末は8台調達すること。（「8. 整備概要図」参照のこと。）

表 2-1 ハードウェア仕様明細一覧（統合端末/必須要件）（1/2）

要件		必須仕様	備考
本体	形状	ノートパソコン	
	CPU	2.0GHz 以上で、2 コア以上の Intel /AMD 製 64 ビット互換プロセッサまたは SoC	
	メモリ	8GB 以上	
	ローカルディスク	256.0GB 以上の SSD を選定すること 機器を本体に内蔵すること	

表 2-1 ハードウェア仕様明細一覧（統合端末/必須要件）（2/2）

要件		必須仕様	備考
本体	ネットワーク	100Base-TX 以上対応であること。接続しようとするハブまでのケーブルを用意すること	
	外部記憶装置 (注 1)	搭載する外部記憶装置は以下のとおり ・DVD-ROM ドライブ×1 ・データ出力可能な任意 (USB メモリ等) の外部記憶装置×1	機器を本体に内蔵すること
	インタフェース	・照合情報読取装置×1 を接続できること (インタフェースは USB2.0 準拠とする) ・ディスプレイ×1 を接続できること (インタフェースはミニ D-SUB15 ピン、DVI-D、HDMI のいずれかに準拠とする) ・タッチパネル×1 を接続できること (映像用インタフェースおよび制御用インタフェースが必要となる)	USB ポート数は 4 以上
	ディスプレイ	1,024×768 ドットの表示が可能なこと	

		High Color (65,536 色) 以上の表示が可能 なこと	
	キーボード	日本語キーボード	OADG 準拠日本 語 109 キーボ ード
マウス		光学式 USB マウスであること 数量：8	
IC カードリーダー/ライ タ		「5. IC カードリーダー/ライタ装置」を参 照のこと 数量：8	
照合情報読取装置		「6. 照合情報読取装置」を参照のこと 数量：8	
タッチパネル (注 2)		ハードウェア仕様については、「表 2-3 ハ ードウェア仕様明細一覧 (タッチパネ ル)」を参照のこと 数量：5	
その他		・上記構成を実装する上で、必要となるア ダプタ類、ケーブル類、電源コード等を すべて含むこと ・指定の OS が動作可能な PC/AT 互換機であ ること	
ワイヤーロック		本体ワイヤーロック固定部位に適合する形 状のワイヤーロックであること 数量：8	

(注 1) アクセス制限ツールの適用、障害発生時のログファイル採取など、外部記憶媒体にデータを出力する場合があるため、データ出力可能な任意の外部記憶装置として、「DVD-RAM ドライブ」または「USB メモリ」などの装置を選定すること。データ出力可能な任意の外部記憶装置として、DVD-RAM ドライブを調達する場合は、DVD-ROM ドライブと兼用することが可能であるため、DVD-ROM ドライブの調達は不要である。DVD-RAM ドライブは、片面 4.7GB または両面 9.4GB の Class0 (書き込み速度 2～5 倍速) の媒体を扱えるものとする。また、Type3 または Type5 の媒体を扱えるものとする。

(Type2 または Type4 の媒体においては、カートリッジから取り出して、Type3 または Type5 と同等の媒体として取り扱えることでもよい。) なお、USB メモリ等は本ネットワークシステム専用とし、他システムとの併用は避けること。また、2 層式 (DVD+R DL や DVD-R DL) の媒体を扱えるものとす

ること。

(注 2) タッチパネルを接続する場合、ディスプレイ接続用の他に映像用インタフェース及び制御用インタフェースが別途必要となる。

(b) オプション要件

(ア) IC カードリーダー/ライター

IC カードリーダー/ライターを使用する場合、以下の構成機器を調達する。

表 2-2 ハードウェア仕様明細一覧（統合端末/オプション要件）

要件		必須仕様	備考
本体	インタフェース	テンキーパッド×1 を、IC カードリーダー/ライター×1 と同時に接続できること（インタフェースは USB1.1 準拠とする） 照合情報読取装置×1 を接続できること（インタフェースは USB2.0 準拠とする）	
テンキーパッド	インタフェース	USB1.1 以上に準拠していること（注 1）	数量：2
	キー	0～9 のキーを有すること。なお、0～9 以外のキーについては、特に規定しない。	
	ケーブル	カードを使用した業務を行う端末と窓口との距離以上の長さを有すること	

(注 1) 照合情報読取装置では USB2.0 準拠のインタフェースが必要となる（USB2.0 準拠に対応していない場合、動作不安定となるため、USB2.0 準拠に対応した機器の準備が必要となる）。

(イ) タッチパネル

タッチパネルの接続にあたっては本体装置との接続が表 2-3 の仕様に合致していることを確認し調達を行うこと。

表 2-3 ハードウェア仕様明細一覧（タッチパネル）

要件		必須仕様	備考
本体	解像度	1024×768 以上	
	インタフェース	・映像用インタフェースおよび制御用インタフェースを装備していること。	
	その他	・デュアルディスプレイとし、タッチパネルはセカンダリディスプレイとして動作すること ・使用する端末の OS をサポートしていること	タッチパネル利用者以外の覗き込みを防止するため、正面以外から画面を見えにくくする斜視防止フィルタを装着すること

(B) ネットワークプリンタ

以下の構成機器を数量 2 台調達する。

表 2-4 ハードウェア仕様明細一覧（ネットワークプリンタ）

要件		必須仕様	備考
本体	出力用紙サイズ	A4 片面	
	解像度	600dpi 以上 モノクロ	スモーキング 1200dpi 以上
	最大印刷速度		A4 片面 23 枚/ 分以上
	その他	・ネットワークに対応できること（LAN 接続インタフェースを装備していること） ・本市において使用する改ざん防止用紙に対応可能なこと	数量：2

(2) ソフトウェア仕様明細

(A) 統合端末

統合端末の数量に必要な数量で調達すること。

表 2-5 ソフトウェア仕様明細一覧

機能	必須ソフトウェア、仕様	製造元
OS	Microsoft Windows 11 Pro 64 ビットバージョンの製品を調達すること。	Microsoft 社製
IC カード制御	IC カードおよび IC カードリーダー/ライタを制御するソフトウェア	
照合情報読取 装置制御	・装置が[FAT13FPJL1] 又は[FAT13FPJL2] の場合は NU461006 を調達すること。 ※[FAT13FPJL1]、[FAT13FPJL2]は令和 6 年 8 月末頃販売終了予定 ・装置が[住基ネット用操作者認証装置（ガイド有）（V3）]の場合は[生体認証ミドルウェア基本ソフトウェア ライセンス（V3）]を調達すること。 ※[富士通株式会社製生体認証ミドルウェア基本ソフトウェア メディアパック（V3）]を必要な枚数に応じて調達すること。 ※製品名は現在仮称であり、製品販売時（令和 6 年 8 月末頃予定）に製品名が決定する。製品名が決定するまでは、仮称で調達を行うこと。	富士通株式会社製

※本仕様を実現するために必要なソフトウェアはすべて含むこと（各種インタフェースボードを制御するドライバソフトウェアなど）。

3. ネットワーク関連機器

以下の構成機器 4 式（処理装置 X 向け 1 式、ファイアウォール向け 1 式、統合端末使用フロア向け 2 式）を調達する。

表 3-1 ハードウェア仕様明細一覧（ネットワーク関連機器）

要件	必須仕様	備考
ハブ	1000BASE-T または 100Base-TX 対応 接続予定機器を収納可能なポート数を有すること (※1) (※2) (※3)	

※1 処理装置 X 向けハブの要件： 2 ポート必要、ラッキング可能であること

※2 ファイアウォール向けハブの要件： 2 ポート必要（統合端末やネットワークプリンタは接続しない）、ラッキング可能であること

※3 統合端末使用フロア向けハブの要件： 8 ポート必要

4. ファイアウォール

基本要件

本項で説明するファイアウォールは、既存住基システムと CS との間を、通信回線で接続する場合に必要な機器である。ファイアウォールの仕様については、下記の基本要件に準拠し、必要な機器等を調達すること。

- (1) 信頼できる製品を使い、本市と保守契約を必ず結び、保守体制を確立すること。
- (2) ファイアウォールのソフトウェア、ファームウェアは、常に最新のバージョンを稼働させるよう、維持管理すること。
- (3) ファイアウォール上では、オペレーティングシステム（OS）およびファイアウォール処理/管理のソフトウェア以外は、原則動作させないこと。ファイアウォールの初期設定で、不要なソフトウェア（ネットワークサーバアプリケーションなど）が動作する場合には、動作しないよう設定を変更すること。
- (4) 本ネットワークシステム上の処理、および本ネットワークシステムに関連する処理に係る通信のみを許可し、それ以外の通信を拒否するようにルールを設定すること。
- (5) ファイアウォール自体への、不正アクセスを防止するルールを設定すること。
- (6) ファイアウォールの管理は、ファイアウォールに直接端末を接続して実施するか、特定の管理端末を決めてその端末から実施すること。管理用の端末を使う場合は、運用管理者のみアクセス可能な場所に設置すること。
- (7) ファイアウォールのログは定期的に解析し、不正アクセスの兆候がないか確認すること。
- (8) ファイアウォールの設定データは、必ずバックアップを取得し、トラブル時には速やかに回復できるようにすること。バックアップを取得した媒体は、第三者が触れられないところで管理すること。
- (9) ファイアウォールは、ラックに収容し、第三者による操作を防止すること。
- (10) ファイアウォールはアプリケーションレベルの通信制御ができるものとする。

ファイアウォール管理端末

上記（6）に記載のとおり、ファイアウォールの管理を行うための端末（任意のスペックのノートパソコン（周辺機器を含む））を調達すること。

5. IC カードリーダー/ライター装置

IC カードリーダー/ライターハードウェア仕様

IC カードリーダー/ライターの機種は、「オープン型 IC カードリーダー/ライター」とする。

表 5-1 IC カードリーダー/ライターハードウェア仕様一覧

要件	必須仕様	備考
カード搬送方式	手動挿入/手動排出方式	
適合カード	ISO/IEC 14443 準拠 IC カード (タイプ B)	
インタフェース	上位装置に接続するインタフェースとして USB1.1 以上に準拠し、リーダー/ライターと通信するためのドライバソフトウェアのインタフェースとして PC/SC に準拠していること	
供給電源	USB インタフェースを通じた上位装置からの電力供給	
動作温度	5～35℃	
動作湿度	湿度 35～85% (結露なき環境)	
伝送プロトコル	上位装置とリーダー/ライターの間の伝送プロトコルについては規定しない リーダー/ライターと IC カードの間の伝送プロトコルは、ISO/IEC 14443-4 に記載されている伝送プロトコルに準拠すること	
電界強度	リーダー/ライターから放射される電磁波の電界強度は、電波法施行規則にて規定された、誘導式読み書き通信設備のうち、設置に際し総務大臣の許可を要しないものであること	
互換性	機構により動作確認を受けていること	

※動作に必要な機器、ケーブル、制御ソフト等はすべて含めること。

6. 照合情報読取装置

照合情報読取装置ハードウェア仕様

(1) 照合情報読取装置 (FAT13M3E54/FAT13M3D53) について

表 6-1 照合情報読取装置仕様明細一覧 (FAT13M3E54/FAT13M3D53)

要件		仕様
インタフェース	USB 規格	USB2.0 準拠
	USB コネクタ形状	上位装置側：シリーズ A プラグ (Standard A) 読取装置側：ミニ B プラグ
	供給電源	DC 5V 500mA 但し、USB バスパワーから供給すること
動作環境	動作環境	使用メモリ：OS の推奨値に準拠していること
	使用環境	温度：5～35℃、湿度：20～80%RH（結露なき環境）
	照明環境	自然光（太陽光）： 3,000 ルクス以下（照合時）、2,000 ルクス以下（登録時）かつ、直射日光があたらないこと 蛍光灯： 3,000 ルクス以下（照合時）、2,000 ルクス以下（登録時） ハロゲン/白熱灯： 700 ルクス以下（照合時）、500 ルクス以下（登録時） かつ、光がセンサー面を直射しないこと

(2) 照合情報読取装置 (FAT13FPJL2/FAT13FPJL1) について

表 6-2 照合情報読取装置仕様明細一覧 (FAT13FPJL2/FAT13FPJL1)

要件		仕様
インタフェース	USB 規格	USB2.0 準拠
	USB コネクタ形状	上位装置側 : USB A タイプコネクタ 読取装置側 : USB マイクロ B (5 ピン) タイプコネクタ
	供給電源	DC 5V 500mA 但し、USB バスパワーから供給すること
動作環境	動作環境	使用メモリ : OS の推奨値に準拠していること
	使用環境	温度 : 5~35℃、湿度 : 20~80%RH (結露なき環境)
	照明環境	自然光 (太陽光) : 45,000 ルクス以下 (照合時)、5,000 ルクス以下 (登録時) かつ、直射日光があたらないこと 蛍光灯 : 45,000 ルクス以下 (照合時)、5,000 ルクス以下 (登録時) ハロゲン/白熱灯 : 9,000 ルクス以下 (照合時)、1,700 ルクス以下 (登録時) かつ、光がセンサー面を直射しないこと

<USB の接続について>

- ・USB インタフェースケーブルはパソコンの USB ポートへ直接接続すること。USB ハブ等経由にて接続した場合は、動作不安定となる。
- ・USB インタフェースのポート数が枯渇することのない様考慮すること。

<使用可能 OS について>

- ・[FAT13FPJL2]または[FAT13FPJL1]の使用可能 OS を以下に示す。

CS : Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition

統合端末 : Microsoft Windows 10 Pro

Microsoft Windows 11 Pro

(3) 照合情報読取装置（住基ネット用操作者認証装置（ガイド有）（V3））について

表 6-3 照合情報読取装置仕様明細一覧（住基ネット用操作者認証装置（ガイド有）（V3））

要件		仕様
インタフェース	USB 規格	USB2.0 準拠
	USB コネクタ形状	上位装置側：USB A タイプコネクタ 読取装置側：USB マイクロ B（5 ピン）タイプコネクタ
	供給電源	DC 5V 500mA 但し、USB バスパワーから供給すること
動作環境	動作環境	使用メモリ：OS の推奨値に準拠していること
	使用環境	温度：5～35℃、湿度：20～80%RH（結露なき環境）
	照明環境	自然光（太陽光）： 45,000 ルクス以下（照合時）、5,000 ルクス以下（登録時）かつ、直射日光があたらないこと 蛍光灯： 45,000 ルクス以下（照合時）、5,000 ルクス以下（登録時） ハロゲン/白熱灯： 9,000 ルクス以下（照合時）、1,700 ルクス以下（登録時）かつ、光がセンサー面を直射しないこと

<USB の接続について>

- ・USB インタフェースケーブルはパソコンの USB ポートへ直接接続すること。USB ハブ等経由にて接続した場合は、動作不安定となる。
- ・USB インタフェースのポート数が枯渇することのない様考慮すること。

<使用可能 OS について>

- ・住基ネット用操作者認証装置（ガイド有）（V3）の使用可能 OS を以下に示す。

CS：Microsoft Windows Server 2022 Standard

統合端末：Microsoft Windows 11 Pro

7. 機構配布ソフトウェア一覧（参考）

以下のソフトウェアは、機構にて用意し、各市町村に配布される。

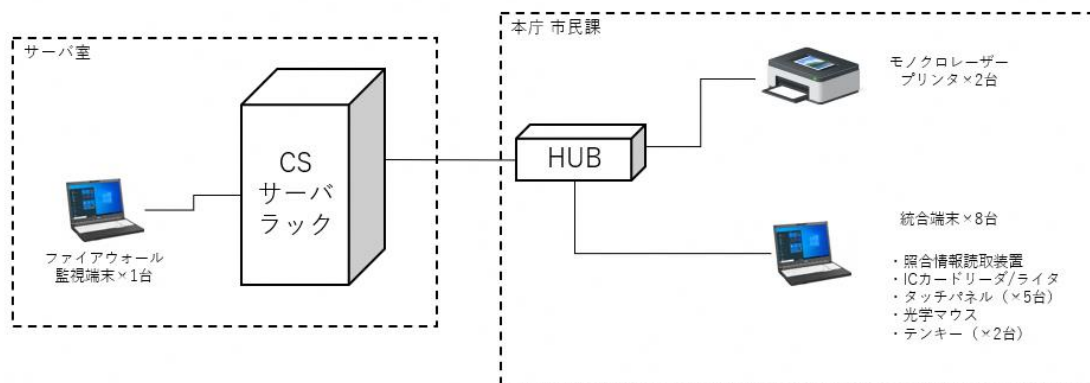
表 7-1 機構配布ソフトウェア一覧

項目	機能	製品名	製造元
CS 本体	ジョブ管理マネージャ	- Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition - Systemwalker Operation Manager Standard Edition（注1）	富士通（株）
	ファイルデリバリソフト	Systemwalker Centric Manager Standard Edition（注1）	富士通（株）
	文字管理ソフト	Interstage Charset Manager（注1）	富士通（株）
	データベース管理ソフト	【Windows Server 2022 の場合】 - Oracle Database 19c Standard Edition 2 - Oracle Client	日本オラクル（株）
		FFRI yarai（注2）	（株）FFRI
		Windows Defender（注2）	マイクロソフト
統 合 端末	ファイルデリバリソフト	Systemwalker Centric Manager Standard Edition（注1）	富士通（株）
	文字管理ソフト	Interstage Charset Manager	富士通（株）
	ウイルス除去・検出ソフト	FFRI yarai（注2）	（株）FFRI
		Windows Defender（注2）	マイクロソフト

（注1）Systemwalker および Interstage の修正パッチを適用するためのソフトウェアとして、UpdateAdviser が併せて配布される。

（注2）ウイルス除去・検出ソフトについては、FFRI yarai 及び Windows Defender を同時に動作させた状態で動作確認、設定の調整等を行っている。
これら以外のウイルス除去・検出ソフトを導入する場合、正常動作しないことがあるため、導入しないこと。

8. 整備概要図



9. 導入作業

- ① 本システムの導入作業については、機構から公表されている最新の以下資料等を確認し、導入作業を行うこと。作業スケジュールや機器設定内容については以下資料等確認の上、作業スケジュール表、設計書等を作成し、本市の承認を得た上で作業を行うこと。

- ・機器更改移行手引書（市町村版）
- ・機器更改移行ツール操作手順書（市町村版）
- ・導入手引書(情報提供・C S シングル構成編)
- ・導入手引書（本編）C S / 統合端末用

（統合端末においては機構から公表される最新の Microsoft セキュリティ更新パッチを適用すること）

- ・導入手引書(情報提供・C S シングル構成編)
- ・導入手引書（CS 編）Windows Server 用
- ・導入手引書(情報提供編)
- ・導入手引書（市町村調達ソフトウェア編）Arcserve Release 用

- ② CS サーバラックについては、既存のラックを使用する。そのため CS 及びネットワーク機器の切替を行うまでの並行期間中は、ラック内の空いている U に操作性を損なわないように機器を仮搭載すること。

旧機器の撤去完了後には、本市職員がコンソールの操作や LTO 媒体の交換等を支障なく行えるよう機器の搭載位置を考慮して本設置を行うこと。

10. 保守内容

ハードウェア、ソフトウェア保守については、本市と保守契約を結び、保守体制を確立すること。

本システムに係る日々の運用は本市で行うが、以下の保守作業内容については、構築・導入事業者が行うこと。作業日時については本市と協議の上、決定すること。下記以外に、機構から公表されている各種運用保守手引書の中に記載の本市で実施が必要な日々の運用に含まれない作業等については、本市へ提案と協議の上、保守内容に含めるか決定すること。

- ・問い合わせ対応（本市が行う日々の運用に係る質問等に対する対応）

※平日の9時から17時30分（12月29日から1月3日を除く）

休日開庁を実施する日の開庁時間帯

- ・システム障害対応

通常勤務時間（月曜日～金曜日 9:00～17:30）を原則とする。

ただし、障害の内容に応じ本市が必要と判断した場合は、上記時間以外でも対応を行えることとすること。

- ・CS 業務アプリケーション適用作業
- ・CS セキュリティパッチ適用作業
- ・端末業務アプリケーション適用作業
- ・端末セキュリティパッチ適用作業
- ・ファイアウォールログの定期的な確認作業
- ・年1回以上のシステムバックアップ作業

11. その他

本仕様書に記載されていない事項については、別途本市と協議の上、実施することとする。

以上